

News Release

2020年5月11日

**太陽誘電: Bluetooth® 5 対応無線通信モジュールのラインアップ拡充
-方向探知機能に対応、倉庫など屋内施設での位置情報の把握が可能に-**



太陽誘電株式会社(代表取締役社長:登坂 正一、本社:東京都中央区)は、Bluetooth®(※1) 5の最新バージョンであるコア仕様バージョン 5.2 に対応した無線通信モジュール「EYSNCNZWW」(9.6x12.9x2.0mm)および「EYSNSNZWW」(3.25x8.55x1.00mm)を商品化します。

今回、方向探知機能(注 1)に対応し、位置情報を把握することが可能となりました。ウェアラブル端末やヘルスケア機器、物流端末など小型・薄型化が求められる IoT(注 2)関連機器に最適な商品です。

この商品は 2020 年 5 月から量産開始予定です。当社サンプル価格は、3,000 円/個(※2)です。

ウェアラブル端末など IoT 関連機器は、非常に小型でバッテリーが限られているため、極めて低消費電力で稼働することが求められます。そのような機器の多くには、消費電力が少ない無線通信規格である Bluetooth®が採用されています。Bluetooth®の最新コア仕様バージョン 5.2 は、従来の低消費電力という特長をそのままに、通信速度の向上や通信範囲の拡大に加え、高度な方向探知機能などが追加されています。

そこで太陽誘電は、今回 Bluetooth®に方向探知機能に対応した無線通信モジュール「EYSNCNZWW」、「EYSNSNZWW」の 2 アイテムを商品化しました。これにより従来ではできなかった倉庫やオフィスなどの屋内施設で人やモノの位置情報の把握などが可能となります。

今後も市場からのニーズに応え、高機能化・高信頼化など、さらなるラインアップ拡充を進めてまいります。

※1 Bluetooth®ワードマークとロゴは、Bluetooth SIG,Inc.が所有しており、ライセンスに基づき太陽誘電株式会社が使用しています。

※2 掲載のサンプル価格は当社の販売サンプル価格です。代理店からご購入の場合は、各代理店へお問い合わせ下さい。

■用途

ウェアラブル端末やヘルスケア機器、物流端末など小型・薄型化が求められる IoT 関連機器向け無線通信モジュール。

■仕様

Part Number	Size (L×W×H) [mm]	RAM [kB]	Specification	I/F	Certification	Temperature [°C]
EYSNCNZWW	9.6x12.9x2.0	24	V5.2 BLE Single 2Mbps	UART SPI I2C PDM	Japan U.S.A. Canada CE※	-40～ +85
EYSNSNZWW	3.25x8.55x1.00		Long Range Direction Finding			

※ ETSI EN 300 328 v2.2.2 の Conducted 試験報告書提供可

■用語解説

(注 1) 方向探知機能

複数のアンテナを使い、Bluetooth®で使用する電波の受信や送信の位相差から信号の方向を特定する技術。GPS では難しい屋内環境で正確な位置情報を把握することができ、倉庫やオフィスなどの屋内で所在管理や通過確認などが可能となる。

(注 2) IoT (Internet of Things、モノのインターネット)

スマートフォンやウェアラブル端末をはじめ、自動車、産業機器などあらゆるものに通信機能が搭載され、インターネット接続や相互通信により、自動制御や遠隔管理などが行われること。